

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0872
施設名	松本おひさま保育園
施設所在地	江戸川区松本1-9-3
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然 ～はじめての虫の観察（蝶）～

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

草木に囲まれ、隣接した公園があるなど、当園の特徴を活かし、「自然」をテーマとして設定した。園庭での初めての自然の発見が蟻で、指差し等嬉しそうに見る姿が印象的だった。また園庭遊び中、飛んでいた蝶を追いかけて、じっくり愛でる等、興味を示していたので裏門のミカンの木で発見した蝶の卵を成育した。

2. 活動スケジュール

- ・卵の孵化を観察(6月中旬頃～7月下旬頃)
- ・幼虫の成長を観察(6月中旬頃～7月下旬頃)
- ・さなぎを観察(7月上旬～9月中旬頃)
- ・成虫を観察(7月中旬頃～9月中旬頃)
- ・羽化、飛び立ちを見送る(7月下旬頃～9月中旬頃)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

子ども達が成育の様子が見やすいよう、大きめの虫かごを準備した。
まだ低年齢であるが、虫かごを自ら観察する姿が見られたので、虫の絵本・図鑑を用意して興味をさらに広げられるようにし、わくわくした気持ちにつながった。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 孵化の観察（黄色から黒への変化・4～5日）
- ・ 成虫の様子を観察（10日～12日）
- ・ さなぎへの変化の観察（5日前後）
- ・ 羽化の観察（さなぎから約10日後）
- ・ 飛び立ち

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

黒い孵化する前の蝶を指差し「これなに？」と興味津々で保育士に質問をしたり、毎日虫かごを見つけると「見たい」と言って、わくわくした姿が見られた。保育士が手に成虫を乗せると、指で触ってみる姿もあった。その後も観察を続け、蝶になると「すごいね」「かわいい」と目を輝かせていた。蝶になり、飛び立ちも見守り、空へ飛んでいく様子を見て、蝶の真似をして踊る等、表現活動にも繋がった。成育を通して、子ども達同士、保育士との関わり等、身近な自然への活動に繋がった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

園庭で発見したアリや蝶の成長の観察を決めた時は話し合いの中で、低年齢ということもあり、観察は難しいのではと振り返ることもあったが、観察を続けるごとに予想以上に興味を持った事に驚いたと同時に改めて興味関心に年齢は関係ないと振り返ることができた。保育での成育活動をきっかけに保護者から「家でもやってみたい」という声が聞かれ、保育園と家庭との繋がりにもなった。「これなに」「おおきくなったね」「とんだね」と話す姿やカゴの中に葉をさす姿に成長等、感じた。これからも子ども達のわくわくの種を大切にしてい